

3-11 三浦半島北部および富士山周辺の地殻水平歪

Horizontal Earth's Strain in northern Part of Miura Peninsula and around Mt. Fuji-san

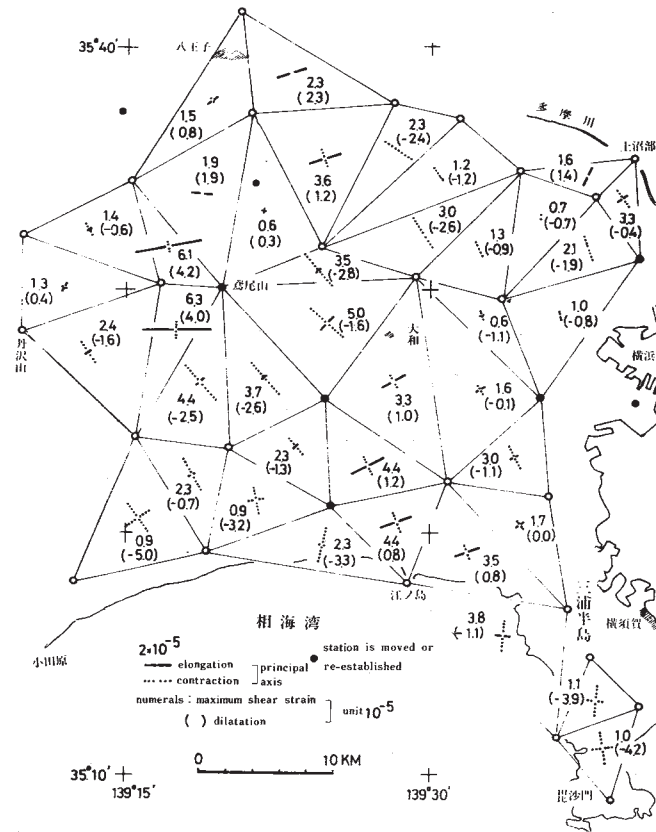
国土地理院 測地部・地殻調査部

Geodetic Division and Crustal Dynamics Division,
Geographical Survey Institute

国土地理院が1974年・1975年に実施した精密測地網1次基準点(旧1等・2等三角点)測量結果のうち、三浦半島北部および富士山周辺の地殻水平歪について報告する。

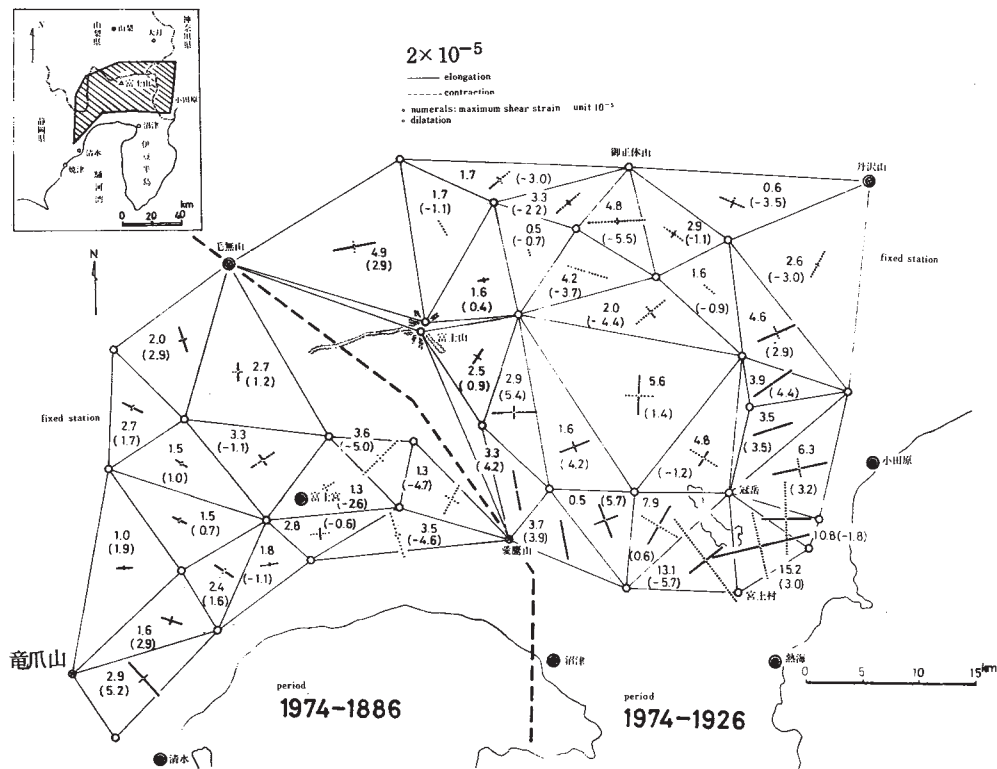
第1図は三浦半島北部の地殻歪である。旧成果は関東地震直後のもので、当時の網平均の不備を正した「学術成果」を採用した。第1図をみると、鳶尾山周辺・江の島北方などに最大 6×10^{-5} に達する最大せん断歪の大きい地域があること、および三浦半島南端に面積収縮の大きい地域があることに気づく。

第2図は富士山周辺の地殻歪である。観測期間は東方の地域が1926年から1974年まで、西方の地域が1886年から1974年までである。東方地域の旧成果は関東地震直後の「学術成果」で、従来の一連の地殻歪の図にそのまま接続してよいものである。芦の湖周辺の 1×10^{-4} を超える最大せん断歪は1930年の北伊豆地震の影響である。西方地域の旧成果は明治の測量の「学術成果」で不動と仮定した三角点も図示されている。いくつかの三角形で最大せん断歪で 3×10^{-5} 、面積膨張で 5×10^{-5} ていどの大きな歪蓄積があることに注目させられる。



第 1 図 三浦半島北部の地殻歪 (期間 1925 - 1975)

Fig. 1 Earth's horizontal strain in northern part of Miura peninsula during the period from 1925 to 1975



第 2 図 富士山周辺の地殻歪

Fig. 2 Earth's horizontal strain around Mt. Fuji-san